



グローバルCOEプログラム「流動ダイナミクス 知の融合教育研究世界拠点」

ECCMF-2



第2回マルチスケール流体実験融合計算化学国際シンポジウム

マルチスケール計算化学と実験研究の異分野融合がもたらす
革新的ブレークスルーを目指して

東北大学グローバルCOEプログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」が主催となり、仙台エクセルホテル東急において「Second International Symposium of Experiment-Integrated Computational Chemistry on Multiscale Fluidics」(第2回マルチスケール流体実験融合計算化学国際シンポジウム)が開催されます。本シンポジウムでは、マルチスケール計算化学と実験研究の異分野融合がもたらす革新的ブレークスルーの可能性について、機械・流体工学・化学・材料科学・触媒・理論化学など多彩な分野から、最先端の研究が発表されます。国内外から招待された実験分野と計算化学分野の第一線の研究者と、東北大学博士後期過程の学生が発表を行い、グローバルな環境問題をメインピックスとした発表が予定されています。

日 時：

2010年2月23日(火) 13:30~17:35 Catalysts, Metabolism, MEMS
24日(水) 9:00~12:05 Purification, CO2 Treatment
13:30~15:10 Novel Energy Systems

場 所：仙台エクセルホテル東急

参加費：無料(講演は英語で行われます。)

※参加希望の方は、下記連絡先までお名前とご連絡先をメールにてお送りください



TOHOKU
UNIVERSITY

主催：グローバルCOEプログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」
連絡・問い合わせ先：東北大学大学院工学研究科宮本研究室内
ECCMF-2事務局 高羽洋充

TEL 022-795-7236 takaba@aki.che.tohoku.ac.jp